

要請番号 (JL02625A20)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
東ティモール	G131 空手道		個別	新規	2年	・ 2026/1 ・ 2026/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

青少年・スポーツ・文化・芸術省

2) 配属機関名 (日本語)

東ティモール空手道連盟

3) 任地 (ディリ県ディリ) JICA事務所の所在地 (ディリ県ディリ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

東ティモールでの空手道の始まりは1976年に遡り、空手道連盟は日本国大使館の協力で1999年に設立された。運営スタッフは全員で5名、国内の登録選手数は約5000名。配属先は首都ディリにあるが、ディリ市内でも何カ所か空手教室が開催されているほか、各県でも空手道の練習が行われている。専用道場はなく他のスポーツと共用の体育館を使用しており、様々な流派及びレベルの競技者が一緒に練習をしている。国内では世界空手連盟ルールに基づき、ジュニアとシニアの大会が隔年で開催されており、年間予算は約30,000米ドル程度。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

東ティモールは産業化の遅れによる就職難や急速な開発に取り残される貧困層の拡大など、大多数の青少年が健全な成長、社会貢献へのモチベーションを失いつつあり、非行に走る原因ともなっている。こうした状況の中でも多くの登録会員をもつ空手道協会ではあるが、適切な指導者がおらず、今後の青少年の健全な育成と、国際的な大会でも活躍できるような人材を育成することを目指しての要請となった。一般競技者への指導と才能の発掘及び育成、指導者の養成にも期待されており、東南アジア競技大会などの国際大会での入賞を目指している。東ティモール国内での有段者は6段2名、5段5名、4段15名、3段10名、2段15名、初段50名。配属先では以下の競技者の年齢によって①見習い: 6-15才、②ジュニア: 16-17才、③アンダー21: 18-21才、④22才以上のシニアの4カテゴリーに分けて指導を行っている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 基礎レベルのKIHON/KUMITE指導、KATAについては基礎一上級レベルの指導(競技力向上の前段階の指導育成)。
 - 競技会参加選手の育成および指導。
 - 指導者の育成。
 - 市内にある他の道場での指導や他県にある道場の視察及び指導。
- ※東ティモールでの空手道の主流流派は松濤館だが、剛柔流、空心流も普及している。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

防具約40セット(手、脛用:赤・青各20)、ボディプロテクター、キック・パンチパッド、マウスピース

4) 配属先同僚及び活動対象者

会長: 男性、50代、副会長: 男性、50代、事務局長: 男性、50代

現在は運営スタッフや有段者が全体を交替で指導している。配属先集まる競技者は100名程度。高校生が中心となる

が、子どもから大人まで、初心者から有段者まで様々。

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
テトウン語	テトウン語	言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（空手道三段）

[性別]：（ ） 備考：

[参考情報]：

・配属先では松濤館流が主流、剛柔流も可

[学歴]：（ ） 備考：

[経験]：（競技経験）3年以上 備考：安全に実技指導を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（23～32℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

隊員が居住する住居は、単身用住居またはホームステイとなる。